



せいひ会だより

2017年(平成29年)
5月1日発行
<第205号>
社会福祉法人せいひ会
<http://www.seihikai.jp/>

お花見



今年の桜は例年よりも開花が遅かったので、皆さん心待ちにしていたのではないのでしょうか？
小規模多機能じゅげむの皆さんも、ようやく咲いた桜を室内に飾ったり、屋上へ上がって西海川沿いの桜を眺めたりして堪能しました。シメは、コミュニティーセンター元亀へのドライブ！桜の花びらが舞い散る下、みんなでお茶会を楽しんできました。

4月の行事

- 1日 年初式
- 1～12日 花見(GH・風和・じゅげむ・寿限無)
- 21日 運営推進会議(GH)
- 26日 消火訓練(じゅげむ)



5月の行事予定

- 5日 端午の節句(風和・じゅげむ・寿限無)
- 5日 菖蒲湯(GH)
- 13～15日 母の日(GH・風和・通所・寿限無・じゅげむ)
- 18日 運営推進会議(寿限無)
- 24日 通報訓練(寿限無)
- 26日 避難訓練(風和)



4月生まれの皆様、お誕生日おめでとうございます



古賀 勝美様



山添 フミエ様



松尾 洵子様



川添 敏子様



堀池 照子様



原口 和代様



長下 安行様



高尾 スマ子様



松尾 孝之様



檀浦 リエ様



出口 ハス様



山道 金光様



大川 千代子様

パースティンデビュー



谷口 桃枝様



中原 勉様



福田 クニヨ様



南 アサヨ様

今回は通所リハビリ：谷口桃枝様にお話を伺いました

昭和7年、佐世保市小佐世保町で生まれる。佐世保の空襲で、現在の佐世保市勝富町に移ったが、小学生時代は救急袋をぶら下げ、防空壕に逃げこむことが多く、『(防空壕には)もう入りたくない』と、真剣な顔で話された。戦時中、栄養状態が悪かったため、戦後は身体を壊してしまい、入退院が多かったとのこと。働き出したのは、25～26歳ごろだった。仕事は、紳士洋服店の店員で、厳しいノルマをこなす

日々だったそうだ。その後、紳士洋服店での仕事を辞め、家庭に入った。現在は、通所リハビリを利用されている。『リハビリに来ている時が楽しい。身体を動かすことや、お友達と話をすることがとても楽しい。』と話されていた。これからも、お元気にリハビリを続けてください。

Vitality Space

バイタリティー・スペース



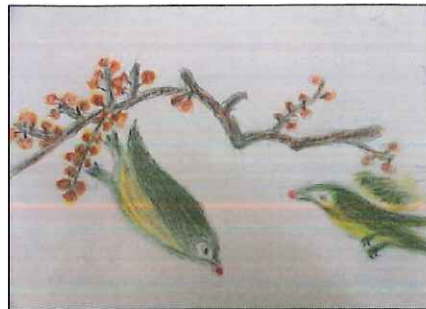
風和
川口春一



通所：竹下晶子



通所：秋浦克敏



通所
荒瀬美智子



寿限無：渋谷アケミ

風和：大川千代子

年
老
い
て
風
和
の
里
で
楽
し
く
暮
ら
す

(風和) 中島マツ

お花見



【寿限無】
寿限無の屋上から、「やすらぎの小径」沿いに咲く桜を眺めました。「わー、きれいー！」「屋上から見る桜もよかね〜」と、大変喜ばれていました。



【GHせいひ】
コミュニティセンター元亀にて、翠風・爽月ユニット合同で花見を実施しました。お天気も良く、満開の桜の下、みなでお菓子やジュースを頂きました。



【風和】
この時期、風和の里の敷地内は色とりどりの花に囲まれるので、お花見にはうってつけ。心地よい日差しを浴びながら、女性同士の会話にも花が咲きました。

せいひ会年初式



4/1、風和の里ふくろうホールにて、社会福法人せいひ会年初式が行われました。理事長挨拶、新役員・新入職員の紹介に引き続き、長崎県老人保健施設協会・土井直子様「成りたい自分になるために」との表題でご講話を頂きました。新人職員を迎え、新年度の目標に向かって職員一同決意を新たにしました。

夏野菜の苗植え



グループホームの目の前にある畑に、オクラ・トマト・ピーマン・ナス等の、夏野菜の苗植えをしました。お天気も良かったので畑仕事もスムーズに進んだようです。大きく育ちますように！

喫茶 やぶこうじ in 寿限無



おしゃれな音楽と本格的なドリップコーヒーで、いつもと違った優雅な時間を過ごしています。自然と話も弾み、ご利用者同士知らなかった一面もわかってくる、不思議な雰囲気にも包まれています。
毎週月曜・14時45分オープンしています。

新人職員紹介



元亀の里
浅瀬 恵さん

少しでも早く入所者様と慣れて、楽しく過ごしていきたいです。また、仕事にも早く慣れてご迷惑をかけないよう頑張ります。

元亀の里トレーニング紹介

③チェストプレスの巻



肩や腕の筋肉を付け、痛みが落ち着いたり、物を持ちたりすることがスムーズになります。「腕に効いている」「腕や肩が痛いの、最初は重いのができなかったが、慣れてきて、おもりが重くなるとうれしい。これからも続けていきたい」等の声が！

次回
『水平レッグプレスの巻』

ずいずい
随・随

ずっころばし

せいひ会の職員が、思うがままをリレー方式で綴るコーナー。今月は、元亀の里・鈴木洋平さんです。

皆さんには、大きな影響を受けた本はありますか？私は10年以上前ですが、仕事帰りに立ち寄った本屋さんで何気なく手に取った、パウロ・コエーリョの『アルケミスト 夢を旅した少年』という1冊の本がまさにそれでした。主人公のサンチャゴが、ピラミッドを目指す旅を通じて人生の知恵を学んでいくのですが、ガイド役の錬金術師が、砂漠を横断中のサンチャゴに対して次のように教えます。「...砂漠がお前に世界を教えてくれるだろう。本当は、地球上にあるものすべてが、教えてくれるのだ...」これを読んだとき、私はハッとしました。なるほど、身の回りの

ことすべてが答えをしてくれるんだと。論理的ではありませんが、それでも直感的に『なるほど』と納得しました。それ以来、悩みごとや考えごとがあるときは、いったん頭の隅っこによけておき、それを少しだけ意識しながら、ほんのちょっと注意深く普段の生活を送るようにしています。そうしているうちに、他人の何気ない言葉やしぐさ、見慣れているはずの景色や日々の食事、そういったことから自然と解決するようになりました。皆さんにも素敵な本との出会いがあるといいですね。